

技術士だより

—(社)日本技術士会九州支部・九州地方技術士センター冬季号<第22号>(平成6年12月15日発行)

◇巻頭言

(社)日本技術士会への提言

(試験、登録、入会について)

水上 信昭 (副支部長・福岡・建設)

(社)日本技術士会が、技術士試験、技術士登録業務を、国の指定機関として実施し、今年は10年目を迎えた。今年の技術士第2次試験の申込者数は21,308名で、昭和59年度の8,774名に比し、2.4倍に達している。九州支部では、福岡会場受験者1,646名に対し、試験委員会(政野光男委員長)を中心に、7教室、延50数名の会員の協力で無事執行することが出来た。試験の実施は厳正、迅速に行われ、関係者の御苦労に対し、深く敬意を表するものである。

私も主任監督員として従事し、現行試験制度について考えて見た。思い出されるのは、4、5年前、建築士試験で替玉試験が発覚し、大分世間を騒がせた事がある。技術士試験の現場での本人の確認については、先ず筆記試験会場に於いて、監督員は受験者提出の写真票で照合している。受験者は、筆記試験に合格すると、東京会場で口頭試験を受ける事になる。口頭試験では、3～4人の試験官が、マンツーマンで面接試験を行う。如何にも完璧にチェックが行われていると思われる。然し、前記替玉受験のように、受験申込時に、本人の写真でなく、試験場に行く人(替玉)の写真を、写真票に貼った場合、監督員、試験官が見破ることは不可能である。法17条では、不正の手段による受験を禁止しているが、昨今のように大量の受験者に対しては、試験執行時の替玉捕捉は、極めて困難である。

この種の問題で、参考になるのが、車の運転免許がある。免許証の発行機関は、本人の出頭を求め、確認の上、免許証用の写真を、その場で撮影し、免許証を交付している。現在技術士受験、登録時の書類の提出は郵送のみで、本人の出頭はない。郵送のみによる、不正防止の方法をどのようにすればよいか、非常に難しい問題だが、次の方法論を提案するものである。

改善策としては、試験執行時に限定せず、登録業務とリンクさせる事である。法32条は、技術士の登録を義務付けている。試験に合格し、有資格者となっても、登録しなければ技術士でない。本試案では、先ず、写真を受験時に2枚(現在は1枚)、登録時に2枚(現在なし)提出させる。合格者と登録者の写真照合と、前記、免許証の例に倣い、身分証明書(登録証明書)を発行する事による不正防止策である。受験時の増加分は、合格後の登録時の照合用とする。登録時の1枚は、登録原簿に貼り(現在なし)、他の1枚(小型)は身分証明書用とし、登録証と共に本人に交付する。登録者全員に、身分証明書を交付する事により、運転免許証と同様の効果を期待するもので、替玉合格者は、恐らく登録を断念し、所期の目的は達せられると思う。

技術士登録業務は、前述のように(社)日本技術士会が行っている。既登録者、28,000名の現在実数は把握されていない。出来ないのである。法38条(登録の消除)、規則22条(登録状況の報告)の義務が課されているが、履行されていない。それは、技術士の死亡による登録消除によるものである。例えば、公的年金関係では、受給者の生存を確認する為、毎年年初に、自治体の証明書を提出させている。法35条(登録事項の変更の届出等)は死亡を対象としていない。技術士が死亡した場合は、遺族は、届出はしないと思う。(社)日本技術士会が、国の指定登録機関として、法の定める義務を果たすためには、技術士が登録を申請する際、技術士会への入会を義務付けなければ、実態の把握は不可能なのである。

<次ページにつづく>

1 人でも多くの入会をお勧め下さい

＜前ページより続く＞ 国も技術士会に、機関委任した以上責任がある。入会の強制は、個人の自由を制限し、不可と言われるが、技術士会の法的責任は、現行のままですまされないと思う。登録者が会員になれば、本人に会費請求がなされ、死亡の場合遺族は届出を行い、生存が確認される。以上、試験、登録制度の改善と、会への入会について、諸士の御批判を乞うものである。

↓ 私の提言 「職業として問える技術士業 社会に問える技術士会を」

二宮 和生 (大分・水道、衛生工学)

技術コンサルタントの本質は如何。この問いの答えを求めて、私自身早10年のコンサルタントの修行を経るに至った。気が付けば、現在自営の技術コンサルタントとして孤軍奮闘中である。今回、私の提言との紙面を戴き、是非とも自営の技術コンサルタントの立場から技術士会へ期待する事を提言したい。

1 職業倫理の高揚

クライアントから技術士に期待することは、専門能力と職業倫理である。特に、職業倫理に関しては、現在のように技術士登録後、実質上制約の殆どない状況では、職業倫理も各技術士の自覚に任せられ、全技術士に高い職業倫理を求める事は不可能である。

技術士がプロフェッションとして社会に真価を問うためには、少なくとも技術士業務を行う技術士はすべて技術士会に入会すること、さらに技術士会は技術士の職業倫理を監視し、場合によっては懲罰を科する等の運営を行うべきである。

➤ 一見、遠い道のようにであるが、この方法が技術士の社会的信頼を得る最も近道である。

2 業務のプロジェクト体制の確立

現在の様に技術が専門化された時代に於いて、1つのプロジェクトを遂行するにしても、複数の専門化による協力が必要である。技術士会が今後受託業務を積極的に行うのであれば、地域ごとでのプロジェクト体制を確立させて行く必要がある。

3 社会問題解決のワーキンググループ作り

社会に発生する様々な問題を自らの専門の立場から解決を図る事は、技術士の使命の1つである。技術士会の中にワーキンググループを作り、解決案を社会へ問うことは、技術士法の不文律の精神と考えるものである。

賢人曰く、「人生に於いて、最も大切なことは、一生を貫く職業をもつことである。」最後に、この言葉を肝に銘じ、職業として問える技術士業、社会に問える技術士会を目指し、精進する事を誓い、私の提言としたい。

日本技術士会近況

原 井 東 男 (理事・九州支部長)

◎平成6年度第4回理事会報告
(平成6年11月16日)

主要議題は下記の通り

1. 名誉会員資格の改訂について

➤ 現在、会員歴10年以上かつ、年齢77歳以上をもって名誉会員としている。しかし、会員の高齢化もあり、このままでは、今後
＜次ページにつづく＞

＜本部近況 つづき＞

名誉会員が急速に増加し、会運営上困難が予想されるので、名誉会員の資格条件を、下記の通り改訂したい。

記

会員歴35年以上を有する会員は、名誉会員の資格を得るものとする。ただし、'95年3月31日現在、会員であって年齢77歳においても、会員歴35年に満たない者については、今後継続して会員であることを条件として、これまで通りとする。

この度の提案は、基本的概念の提案として了承し、次回までに数字的資料を整え、再提出し審議決定することとなった。

2. 役員選挙管理要領(案)について

理事及び監事の選挙制度の一部変更に伴い、選挙管理要領(案)の提案があった。主たる事項は下記の通り。

イ. 選挙の開票

当選者及び得票数を公表する。

ロ. 選挙運動

選挙管理委員会は、選挙に当たり、選挙広報を作成し、会員に発送する。

候補者は、掲載分を委員会に提出する。文章による選挙運動は一切行ってはならない。

以上の提案につき審議し、文言等の不備を訂正のうえ、次回理事会で決定することとなった。

次回第5回理事会は平成7年1月18日(水)

技術士会九州支部・九州地方技術士センター

行事・会合などの報告

支部センター行事

◎平成6年度第1回常任幹事会

1. 日時 平成6年9月17日(土)13:00~16:00

2. 場所 サンライフホテルI 出席13名

3. 議題

(1) 会員増強の取り組みについて

(2) 本年度半期経過の反省と今後の予定について

(3) 理事選挙方法の一部改正について

(4) その他

4. 報告事項

(1) 合同セミナーについて

／ (2) 中四国支部沖縄県技術士会との合同研修会について

(3) 第2回西日本技術士研究業績発表年次大会について

(4) 理事会、支部会長について

(5) その他

◎平成6年度中間会計監査

1. 日 時 平成6年11月12日13:30~16:00

2. 場 所 サンライフホテルI

3. 出席者 原井支部長外7名

4. 課 題 イ. 平成6年度4月~9月会計監査
ロ. その他

◇婦・総務委員会(重富委員長)

九州支部並びに九州地方技術士センターの規規約改定について
現在施行中の九州支部並びに九州地方技術士センターの規約について、見直しを行うこととし、平成6年12月3日開催の常任幹事会で規約検討委員会を設置することになりました。つきましては、会員皆様方の御意見を聞かせていただきたいと思いますので、下記の要領で事務局宛FAXをお送り下さい。

記載要領 条文(九州支部、九州地方技術士センターの別、出来れば改で理由)
所属地区、部門、氏名

提出締切 平成7年1月10日

宛 先 九州支部事務局 FAX 092-731-8274

☆第21回技術士全国大会

期 日 平成6年10月19日 9:00~19:30

場 所 大阪市ヒルトンホテル

参加者 500名

／ (1) 分科会A, B, C, D

記念式典 宮崎会長外来賓の祝辞外

懇親会 (九州支部会員19名参加)

<次ページにつづく>

＜支部・センター行事報告 つづき＞

前日10月18日 関西国際空港見学

(2) 研修旅行

(A) 学園都市と洛南（日帰り）

(B) 勝浦温泉と南紀周遊（1泊2日）

(C) 天の橋立と名園名城（2泊3日）

☆平成6年忘年パーティ並びに研修会

日 時 平成6年12月3日(土)13:30～19:30

場 所 福岡市博多パークホテル

参加者 70名

(1) 研修会「近世アジアの日本と朝鮮半島」

講師 三宅英利先生

「私の人生漫談」

講師 後藤四郎先生

◇ 試験委員会(政野委員長)

(1) 平成6年度技術士第一次試験

日 時 平成6年10月9日(日)

試験会場 九州大学工学部防音講義室

試験官 原井支部長外13名

合格発表 平成6年12月21日(水)

平成6年度技術士第1次試験筆記試験受験状況

議題	申込者(人)		受験者(人)		欠席者(人)		受験率(%)	
	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後
500		65		47		18		72.3
600		100		73		27		73
601		68		40		28		58.8
602	71	71	40	42	31	29	56.3	59.1
603		93		76		17		81.7
合計	71	397	40	278	31	119	56.3	70.0

(2) 試験委員会(第3回)

日時 平成6年10月26日(水)17:00～19:00

場所 博多第一ホテル

議題

1) 試験監督業務に関するアンケート結果について

2) 監督員候補者の選考について

3) 監督員候補者名簿の作成について

4) その他

監督員候補者選定基準(試案)

- (1) 監督員は、勤務時間等の制約条件を考慮し、福岡市及び近郊在住の技術士とする。
- (2) 主任監督員の資格条件は、日本技術士会九州支部会員とし、監督員の資格条件は、九州地方技術士センター会員とする。
- (3) 原則として年齢制限はしないが、試験当日の試験場における拘束時間(8:00～18:00)等を考慮し、30歳～65歳の健康な人が望ましい。
- (4) 確保したい主任試験監督員候補者数20人以上、監督員候補者数30人以上とする。
- (5) 監督員候補者を登録し、登録された技術士の中から、主任監督員、監督員を選定する。
- (6) 監督員の任期は2ケ年とする。但し再任を妨げない。

試験監督業務に関するアンケート集計

	技術部門		会員種別		平成7年度監督		監督員登録		年齢構成					
	建設	以外	支部	センター	YES	NO	YES	NO	30～	40～	50～	60～	66～	計
8月24日、25日	23人	11	20	14	26	8	26	8	6	15	4	6	3	34人
アンケート回収率	68%	32	59	41	76	24	76	24	18	44	12	18	8	100%
9月30日	84人	58	52	90	74	68	81	61	7	28	30	32	45	142人
アンケート回収率	59%	41	37	63	52	48	57	43	5	20	21	23	31	100%
合計	107人	69	72	104	100	76	107	69	13	43	34	38	48	176人
	61%	39	41	59	57	43	61	39	7	24	19	22	28	100%

注1) 8月24日、25日のアンケートは、平成6年度技術士第二次試験監督員を対象としたもの。

注2) 9月30日のアンケートは、福岡市及び福岡近郊在住者を対象としたもの。

◇ センター・育成委員会

(久保田委員長)

☆平成6年度技術士口頭試験講習会

(1) 日 時 平成6年11月19日(土)9:00～17:00

場 所 福岡商工会議所604, 605, 701号室

受講者 85名

講師 32名

(2) スケジュール

9:00～9:40 口頭試験の方法と意図、意義の解説＜次ページにつづく＞

＜支部・センター行事報告 つづき＞

講師 尾中健一
9:40～10:20 試問事項と対策研修法の基本を解説

講師 町田貞徳
10:20～11:00 試験室における対応法の考

え方を解説

講師 久保田信一

11:00～12:00 体験発表 (前年度合格者)

12:00～13:00 昼食

13:00～17:00 模擬面接試験と講評指導

☆平成6年度技術士第二次試験(筆記)合格者
平成6年11月2日発表 福岡会場

	申込数	受験数(A)	合格数(B)	合格率B/A
全 国	21,308	12,637	2,224	17.6%
福 岡	1,649	1,020	141	13.8%

機 械 山口啓志 水 道 岩橋英雄
" 松下幸之助 " 角田典基
" 長谷川信之 " 外園隆一
" 岸川直人 衛生工学 岸田正坦
" 福永圭悟 " 上野山清
" 井家上洋 " 三方信行
電気電子 碓 俊明 " 杉野 光
" 松尾 稔 " 毛利一美
" 毛利勝則 農 業 藤本滋生
" 永田至孝 " 宮崎浩三
" 石崎 智 " 崎野信義
" 桑折恭一郎 " 白井良典
" 柴田典顕 " 吉村博人
化 学 高井一也 " 上野幸一
金 属 安田 久 " 楠田直稔
" 服部敏幸 林 業 諫本信義
" 安西敏雄 " 八村智明
資源工学 中村真史 水 産 山本 浩
情報工学 畠中新二郎 建 設 小川敏幸
応用理学 園田吉弘 " 永嶋洋政
" 松本直弥 " 吉本豊彦
" 原口善光 " 高本 明
" 金田良則 " 山本芳裕
" 興那原信夫 " 山下正哉
" 酒見知加保 " 藤尾保幸
" 長谷川修一 " 岩田博文
" 塚原 光 " 古賀教彦
環 境 小島義博 " 濱田善弘
" 古賀照久 " 庄野隆則
" 松浦茂雄 " 緒方 滋
" 松岡信明 " 柿山真一
" 岸和田侑 " 石原 元
" 松本克彦 " 高木 茂
" 中熊秀光 " 高橋陽一
" 河野通久 " 堤 忠彦
" 笠 進 " 坂口信夫
" 中田憲一 " 豊永信博
" 原千佐子 " 大久保裕文

建 設 矢ヶ部輝明 建 設 有吉隆弥
" 伊藤解子 " 佐藤秀輝
" 内田武顕 " 西井康浩
" 橋口清文 " 高山直樹
" 恒松道信 " 永友久信
" 篠 勤 " 佐野信博
" 関 智 " 工藤康芳
" 森 勝義 " 江藤芳武
" 菊池孝次郎 " 前田義隆
" 豊崎貞治 " 武藤常陽
" 村上秀夫 " 石田弘至
" 堀川毅信 " 藪内一彦
" 松尾景治 " 寺地 守
" 奈良 敬 " 加藤啓文
" 大和則夫 " 吉田輝光
" 梅本恭介 " 野田健二
" 上村洋司 " 谷口 勲
" 石井栄造 " 栄徳洋平
" 黒枝秀吉 " 篠宮正修
" 吉村 佐 " 光岡 毅

建 設 田中康男 建 設 中村拓三
" 小柳賢祐 " 宮本 憲
" 八木章久 " 野添秀昭
" 緒方英雄 " 吉岡一行
" 山下郁史 " 若林昭彦
" 田中義朗 " 高田悦久
" 谷村信一 " 川井田芳紀
" 江藤英昭 " 境 睦人
" 細田勝則 " 田代民治
" 松原利之 " 金子俊幸
" 宮本晴邦 " 吉竹正致
" 西山和比古 " 岩切重人
" 稲森光洋 " 丹生谷和臣
" 山口裕三 " 大城政人
" 池邊健二 " 中村秀一
" 山本紀夫 " 黒崎靖介
計85名

行事レポート 第21回日本技術士全国大会に出席して

岡部 九州生（第5部会長・福岡・農業）

10月18日（火）（バス2台、約90名参加）

11時ヒルトンホテルを出発し、阪神高速道路湾岸線を新関西空港に向かう。

事業費約1兆4,585億円、9月4日開港したばかりの空港は、眩しいばかりの新施設である。大阪湾南東部の泉州沖5kmの海上に浮かぶ510.3ha（滑走路延長3,500m,幅員60m）の人工島で、着工以来10年で開港というスピードのため沈下は当然予想され、それに対応するあらゆる措置を講じながらの開港となった。特に内外からの乗り替えを立体的に進めるためのターミナルビルの構造となっている。

午後、連絡橋の取り付け口泉佐野港より観光船に乗船し、大阪湾を海岸沿いに北西に向かい、海上より新空港島並びに阪神高速湾岸線の遠望を眺めながら明石海峡大橋の説明と見学を行い、大阪天保山港に19時30分帰着した。

◎10月19日（水）大会開催（ヒルトンホテル）

- ・分科会Aテーマ：空港開港と地域開発問題
 - ・分科会Bテーマ：空港と技術開発
 - ・分科会Cテーマ：日中技術交流の展開
 - ・分科会Dテーマ：技術士の業績・技術発表
- 各分科会共満席の盛況で活発な意見の交換があり、その内容が大会で発表報告された。

◎記念式典（約500名を越す出席）

歓迎のことばが大会委員長森川幸昭氏よりあり、日本技術士会会長宮崎茂一氏の挨拶の後、国務大臣科学技術庁長官・建設省近畿建設局長・近畿通商産業局長・大阪府知事・大阪市長・神戸市長いずれも代理の祝辞の後、関西国際空港株式会社社長の祝辞があり、大会実行委員長山田俊満氏の謝辞で式典は終了した。記念講演として人間国宝の竹本住大夫氏による、なにわ古典芸能「文楽よもやま話」並びに文楽の実演と解説があり、懇親会に入る。最後に来年開催の北海道の案内と万歳三唱により閉会となった。

◎第5部会会員の皆さんへ！

平成6年度第5部会の事業計画として、佐賀県内諸施設の見学会を10～11月に予定していた居りましたが、佐賀県とも協議の結果、早魃のため平成7年3月上旬に延期いたしましたのでご了承下さい。なお詳細は2月上旬に部会員全員に連絡申し上げます。

第5部会長 岡部 九州生



レポート 第一部会 技術研修会報告

山谷 三郎（第一部会長・福岡・機械）

平成6年9月2日(金)、13時30分～17時、福岡第1ホテル会議室にて、第一部会(機械、電気電子、船舶部門)本年度第1回技術研修会を開催しました。参加者は31名に達する盛会にて、部会技術士各講師、1時間講演に対しての質疑応答形式となりました。

そのテーマは、超巨大から極微小に亘る先端技術にて、次の通りでありました。

1)沈埋トンネル工事における施工機械設備について 機械 田中 正人先生

2)原子力発電の現状と将来 機械 小林 良一先生

3)半導体製品の原料製造と加工方法の概要 電気電子 町田 貞徳先生

上記の講演について概要を解説します。

まず第1のテーマは、日本のトンネル掘削技術は世界一と言われている中で、掘削によらずにトンネル形状コンクリートブロックを海底碎石基層上に沈め、上部に碎石を載荷し整列接合して行く工法であります。実際には洞海湾にてコークス搬送用トンネルとして、

成功使用された近代先端を行くトンネル工法の一つであります。

第2のテーマは、人類が化石燃料排出ガスによる地球温暖化等公害から、クリーンエネルギーを求めている開発型巨大発電技術であり原子力発電は、その経済性の保持と操業上の安全性確保、及び廃棄物処理を含めて環境対策を配慮して取り組まねばならない技術と言えます。

第3のテーマは、現代及び将来の情報産業の鍵をにぎる半導体(IC)に関する複雑多岐にわたる製造工程と、その超微小精密加工技術分野は、各社シークレット部分を含めて、日夜記憶容量増加へ向かって競争進歩、しのぎを削っている状況が良くわかりました。

閉会後は、懇親会にて和気あいあいの中、お互いの事欠かない話題に、アルコールを入れての雰囲気となりました。最後に参加の皆様、お世話戴いた先生方に厚く御礼申し上げます。

以上

レポート 第三部会 例会懇親会報告

江崎 親教（第三部会長・福岡・金属）

第3部会は、化学、金属、資源工学の3部門からなり、部会発足当時の会員数は、化学3名、金属6名の計9名であった。3年後の今日では、化学6名、金属16名の計22名となった。平成6年度の例会懇親会をつぎの次第で開催し、会員相互の交流懇親と発展を期した。

◎開催日時：6年10月8日(土)16:00～19:00
場 所：JR博多駅筑紫口都ホテル右隣 博多第一ホテル

次第1：新旧会員の自己紹介

次第2：卓話「韓国を尋ねて」

講師 空閑 忠雄 先生

次第3：卓話終了後 会食懇親会

近時東アジアへの工場移転進出も始まり、産業構造の空洞化が現実となり、東アジア諸国との水平分業による発展が期待されている折り、空閑先生の卓話は釜山、大邱、慶州近辺の詳しい説明と感想が述べられたが、最近の隣国を知る上で意義深いものがあつた。

レポート 長崎県青年技術士会見学研修会報告

福岡 辰義（長崎地区代表幹事・建設）

本年度の行事として、下記により見学研修会を実施いたしました。

日時：平成6年10月15日(土)13時～19時

場所：三菱重工(株)長崎研究所、
長崎造船所香焼工場

第6部会(芳賀 部会長)からの参加も

あり、総勢24名にて見学することが出来ました。当社には川村昭宣、黒川正文両先生が在職されており、今回の見学も両先生のご尽力によって実現したものであります。

◎三菱重工(株) 長崎造船所

<次ページにつづく>

船舶海洋研究推進室の池上（主査）さんより、ビデオを使った概要説明を受け、屋内の巨大な実験施設、耐航性能水槽（長さ190m、幅30m、船の運動性能、操縦性能実験用）や氷海水槽（長さ20m、幅9m、北極海の油田開発等を見据えた氷海における各種の性能試験用）を見学、明日の新技术を生み出す新鋭の設備は目をみはるものがありました。

◎長崎造船所香焼工場

黒川先生の概要説明を聞き、構内の切斷工場、船体工場、100万トンドック、風力発電機（250kw）等を見学させて頂いた。稼働中の広い構内は人影が非常にまばらな感じが、

あったが、リストラの結果、これで充分との話であった。広い構内、巨大な施設に圧倒され乍ら見学を終わった。世界を股に活躍する三菱重工(株)の片鱗を垣間見る思いがしました。

近くに居ながら、仲々見学の機会がなかった三菱重工(株)、百聞は一見に如かず、大変よい勉強をさせて頂きました。見学を終わって6部会の方々は雲仙視察に出発され、青年技術士会会員は同社の記念館で、川村、黒川両先生が準備して下さった懇親会で楽しいひとときを過ごすことができました。三菱重工ご当局、川村、黒川両先生に厚く御礼を申し上げます。ご参加の皆様有難うございました。



行事レポート ◇ 第6部会・他部会との合同見学会

芳賀 三千億（第6部会長・長崎・経営工学）

見学日：平成6年10月15日（土）～16日（日）

見学先：15日午後 三菱重工(株)長崎研究所
及び長崎造船所香焼工場

16日午前 雲仙・普賢岳及び島原城

参加者：8名

福岡	事務局	古賀	豊吉
北九州	応用理学	江畑	賢一
大分	農業	今村	欽一
〃	水道	日野	健次
長崎	経営工学	芳賀	三千億

地区	部門	氏名
福岡	建設・農業	久保田 信一
〃	建設	高橋 保夫
〃	電気・電子	町田 貞徳

◎ 三菱長崎研究所及び長崎造船所香焼工場
15日の見学会は、長崎県青年技術士会（会長福岡辰義）で企画のものを合流させて頂いた。 <次ページへつづく>

総勢24名の技術士が、13時長崎駅前に集合、三菱のマイクロバスなどに分乗し、長崎半島の深堀地区及び香焼地区に向け出発した。

○ 長崎研究所（深堀地区）

川村部長代理（技術士・建設）と池上主査のご案内で、同研究所のうち研究員が60名の船舶・海洋研究推進室の設備を見学した。

その中で目玉は世界一流と云われる190m×30mの対航性能水槽、浅水域試験水槽及び氷海水槽で、船舶やプロペラの性能及び浮体構造物の挙動などに関する研究を行っている。

○ 長崎造船所香焼工場

戦時中には超弩級戦艦「武蔵」を、4年前には豪華クルーズ客船「クリスタルハーモニー」の建造実績を持つ世界に誇る造船所で、当所の誇る最新鋭のプラントである。

黒川主務のご案内で切断工場、溶接工場、小組立工場及び百万トンドックを見学した。

◎ 小浜温泉（三菱製鋼保養所）宿泊
同夜は部屋に全員集合、アルコールも入りり談論風発、互いに親交を深めた。

◎ 雲仙・普賢岳視察及び島原城見物、解散
噴火により大被害を受けた深江町を視察した。山は変貌し、民家は大火災流、大土石流により焼失、埋没し、見るも無残。ふもとに堆積した火山灰などの量は、東京ドーム約180杯分といわれ、改めて自然の力を思い知らされた。44名の犠牲者のご冥福と、噴火後丸4年の長期災害に、活動終息の見通しのないまま避難生活を強いられている2,000名を越える方々に思いをいたし、一日も早い終息を祈念しつつ現地を離れ、島原城へ向かった。「不知火まつり」で賑わう島原城天守閣を見物してから昼食後解散し、それぞれ家路についた。

以上

◎ 備忘録 ◇ 立門導水路（竜門ダム）技術研修見学会に参加して

日野 健次（大分・建設・水道）

去る10月28、29日に川崎第2部会長、古賀事務局長をはじめとして、総勢18名で竜門ダムの立門・津江導水路のうち、前者を前田建設の協力によって、技術研修見学会が無事終了した。立門導水路は、菊池川本川の立門地点より、流量に余裕のあるときに10m³/secを限度として、竜門ダムへ導水するものである。

ダム本体は、菊池川支川迫間川に完成間近であるが、流域面積26km²と小さいために、2本の導水路によって県境を越えた広域的な導水計画を策定したもので、今年のような渇水時には、効果を発揮するものと予想される。広域的な導水は、江戸時代においても古川兵衛井手等の実績もあるが、今回のダム計画では、水利権の確保に建設省等の努力が大きかったと聞き、ダム事業の遠大さを感じ入った次第である。

導水路は自由水面をもつ自然流下方式で、延長4.2km、縦断勾配1/2,100、半径1.625mの小断面であるが、施工の効率化、省力化を主目的とした長大型枠（L=18m）による機械化工法の技術開発を目指したものである。

これは建設業がかかえる3K、人手不足等に対して、従来の掘削と覆工の競合を避け、単一作業化、環境の改善、トンネル掘削の急速化に対応するため、覆工作業の省力化を図ったもので、その成果として月進430mの記録を達成したとのことであった。実際にトンネル内では、小断面の割りには整然とした様子で、トンネル施工技術の進歩に努力を惜しまない建設業の心意気を感じた。

私はトンネル技術専門ではないが、建設コンサルタントに従事する立場から、研修会での質疑応答および現場見学より感じたことを述べる。

① トンネル内への周辺地盤からの湧水量は、立門で1.5m³/minと聞き、地質状況の差異による地下水の浸透現象に、解析技術の将来における発展性に魅力を感じるとともに、地表部での水枯渇に思いを馳せた、この水枯渇に対しては、長大型枠の中央部にダミージョイントを設置し、クラック発生防止と止水板の材料選定及び取付けに工夫がみられた。

<次ページにつづく>

② 仮設備では、狭いトンネル内に換気、排水設備等が要領よく配置されていた。排水設備では、トンネルが菊池川に近接しているため、洪水時にはトンネル内に多量の浸透水を招くため、ポンプ容量の変更を行ったそうである。設計時にはトンネルが小断面であることや、ポンプの経済性を考慮して設備を過

小に計画するのが一般的であるが、施工に配慮した計画設計を立案・策定するのが肝要であると感じた。

最後に菊池温泉での懇親会は、昼間の見学会の雰囲気、そのまま持ち込み、賑やかに行われたことを報告する。

以上



技術士受験体験談

佐藤 洋二郎（佐賀・平成5年度・建設部門（道路））

1. はじめに

私は昨年、初めての受験で合格できました。ここに『受験体験談』を披露できることは夢のようです。これは“九州地方技術士センターの受験対策講座”での適切な指導の賜物と感謝しております。

2. 受験の動機と心構え

私は技術士に憧れていましたが、数年前までは技術士2次試験を受験することすら自信がなく、他の資格「施工管理技士1級」「技術士補」の取得で気を紛らしていました。そのような時「RCCM」の試験制度導入で、技術士またはRCCMでないと「管理技術者になれなくなる」というものでした。私はRCCMを会社の勧めで受験しましたが、対策

が甘く不合格でした。2度目は前年の雪辱を晴らす思いと、周囲のプレッシャーで合格することができました。しかし取得したRCCMは“所詮技術士の補助”ということを知り、技術士受験への挑戦意識が湧いてきました。この受験に必要なものは“合格しなければならないというプレッシャーと、十分な受験対策”のようです。

私はその2つの要素“プレッシャーと受験対策”を九州地方技術士センターの対策講座で得ることができたと思っています。

3. 受験対策の経緯

一年前の私は何の対策もできていないどころか、何をしたら良いのかも分からない状態でした。 <次ページにつづく>

それなのに、第1回の受験対策講座で“当講座の先生”から「佐藤さん、今年1回で合格しましょうね!」と言われました。私は驚きと共に「なんて無茶なことを言う先生だろう」と思いました。

その時点の私は、やっとの思いで受験願書を提出した程度で“経験論文のテーマ”さえ決めていない状態でした。

4. 受験準備と勉強方法

4-1) 受験準備

中途半端な気持ちでの“合格は無理”と理解し、受験準備の第一歩として家族に宣言をしました。「今日から技術士の勉強をするぞ!」と、これは甘えた自分を断ち切るためでした。その後、家族の理解と協力は受験勉強の大きな支えとなりました。受験対策に疲れた時には“安らぎ”を、勉強をなまけている時には“はっぱ”をでした。受験準備は、とかく論文等の基礎資料を集めることと思われるますが、まず“心と生活環境の準備”が重要だと思います。

4-2) 勉強方法

多忙の中での受験対策は「勉強のための十分な時間が取れない」と考えがちですが、私の経験では、休日の長い勉強時間より平日の短い時間の方が、勉強成果が上がりました。大事なものは“受験勉強”を日常生活の一部にしてしまうことだと思います。また、

テープレコーダーを利用した勉強が有効でした。例えば、勉強に“あまり集中できない時”などは覚えたいことを声を出して読み、それを録音しておき通勤途中に繰り返し聞くというものでした。

帰りに読む夕刊(私の場合は日本経済新聞)は“リラックスしながら知識を得る”ことに役立ちました。その習慣が功を奏し“筆記試験前日”に読んだ記事が、問題に関連しており、生きた回答ができました。(政府、記者発表の渋滞対策関連記事でした。)

休日は、早朝の勉強に重点を置き、後は家族サービスと休養に使いました。特に、夜の勉強は“一週間のまとめ”程度にし、早く寝るようにしました。

5. おわりに

私が受験対策講座で学んだ、この試験の意義について申し上げたいと思います。

それは、試験は ①『受験者の生きざまを評価する』 ②『受験者をはたかにして評価する』 ③『受験者の知識だけでなく高等な应用能力を評価する』でした。

私はこの一年間、受験勉強の途中で“挫折”しそうになったり、思い出は“つらい”ことが多かったのですが、九州地方技術士センターの受験対策講座の先生方のご指導と家族の励まして乗り切ることができたと感謝いたします。 おわり

● 随想 ◇ 青年技術士へ捧ぐ～リーダーシップ発揮の決め手～

リーダーが悪いと、組織が活力をなくし、部下が萎縮したり、また逆に、好き勝手なことをして、まとまりを欠くことになったりします。

リーダーシップが取れれば、尊敬の対象とされます。また誰もが、いずれは何らかの形で、リーダーというものにならなければならないのですから、大切な能力であるといえます。リーダーシップの有無が、部下の将来までも左右する大切な能力です。

そこで、リーダーの心構えとして必要なものを整理しますと、次の5つであると考えます。

①話しを聞く……誠実に(私的なものまで含めて)

前田 秀人(佐賀・建設)

- ②すべてを分かち合う、共に働く(一体感)
……部下の成功のために働く
- ③PRしてあげる
- ④テーマを与えられる(計画設定)
- ⑤革新し続ける

大まかには、これぐらいでしょうが、若い部下に対しては、④、⑤を重視して能力的なもので接し、ベテランの部下に対しては、①②を重視して人情的なもので接する必要があります。自分の主体性、存在感を持ちながら、リーダーシップを発揮することに挑戦していきたいものです。

以上

矢野 友厚（センター副会長・福岡・建設）

○ 孫文の旧居

ハワイの兄から贈られた800ドルを元に、募金して孫文のために建てられたヨーロッパ風の家で、先生は大変気に入られ、大喜びされたという。隣接する農家は、昔の農家の貧しさを物語っていた。

また、近くの記念館で、昔のレコードによる講話録音を聞いたが、その内容は、孫文が亡くなる約9ヶ月前の1,924年5月30日、広州で「国民を激励する」と題したものであった。そのほか、孫文自筆の書を拝見したが字は意外に拙い。

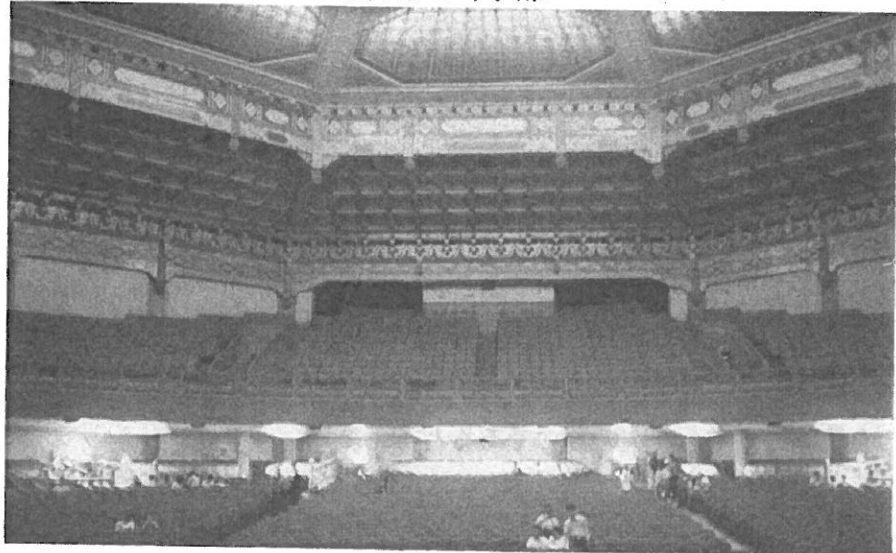
○ 孫文記念講堂

壮大な広さを持つ講堂で、約8,000人を収容できる。音響効果が極めてよく、壇上で講演する際ノーマイクで、隅々まで楽々と声が届くように造られているのには驚いた。

孫文記念講堂



講堂の内部



<次ページにつづく>

○ 中山(孫文)記念中学

孫文の遺徳をたたえて、5万坪もある広大な面積をもった記念中学がある。教室を見渡すと生徒が黙々と勉強中である。机上にはあらゆる種類の書籍が載っており、英才教育のメッカである。

この学校の入学生徒は華南地区の選りすぐった英才児であり、勿論学資等一切不要で、大学まで進学。但し卒業後は国指定先に就職する。一般では村から町や市には移動不可の窮屈・厳重な制度下にあっても、この学校に入れる位頭がよければ、都会に転出できるということになる。

中山記念中学



○ 記念中学の掲示黑板への落書き

英才教育の学校だけあって、落書きの内容も最近行われた試験の模範解答を、生徒が記載したものであった。私達には、なつかしい幾何(数学Ⅲ)や、無機化学の化学方程式、有機化学の分子式、物理の弾道方程式等、さすがである。

○ 60kmの河口幅をもつ珠江

河口と言っても60kmもあれば対岸は見えない。中国一の河口幅という。なお、河の長さは中国第3位の2,100kmというから、九州から北海道までの長さである。

広 州

○ 広州の湧き出る人・人・人

広州で先ずドギモを抜かれることは人が多いことである。人口1,000~1,200万といわれ

駅前広場は雑踏の波である。その波が、東京のように一定方向に整然と動いておれば別だが、各人思い思いに方向もなく、ダラダラとまるで蛆にも似た動きであり嫌悪感すら生じた。

○ あふれる人と自転車、オートバイ

前述のように1,000万人の溢れる人並みの中を、100万台の自転車とオートバイが動き回っている。オートバイはほとんど日本製でホンダが一番多く、ヤマハ、スズキ等が若者を乗せて、誇らし気に走り廻っている。

○ パラボラアンテナ指向方向の怪

広州で、ホテルの窓から外を眺めたら、テレビ受信用のパラボラアンテナの方向が2種あることが判った。

添乗員にたずねたら、一方は中国政府の発信方向、他の一方は香港で、香港放送はニュースが早く内容もグローバル、一方は中国内が主で、自画自賛、その上記事が遅く、鄧小平氏の地区訪問等は予告もなく、北京に帰った後、来訪の画面が出るそうで、勢いテレビアンテナは香港に向けられるそうである。

香港が中国に返還されたらアンテナはどこに向けるであろうか?

○ バサバサの米

中国華南の米は、バサバサの歯当りで、日本の米のような粘り気がない。日本食で炊けば、いわゆる外米の味でおいしくない。

ただし、焼飯にすれば滅法うまいから驚きだ。

○ 漠々たる平野

香港から広州に行く途中、山ひとつ見えない平野を走る。少々の人口なら吸い込まれてしまいそうな広野である。土壌は赤色の酸性土壌が大半で、建築に多用されている赤煉瓦材料にこと欠かないはずだ。

○ モンキーバナナ

華南地区は暖かいせいかわ小型のモンキーバナナを作っている農家が多い。道路脇のシダレ松並木が対象的で、ちょっと意外な感じがした。

<次ページにつづく>

中国あれこれ

○ 建設現場の竹足場と、素足+ヘルメット

中国の建築現場で竹足場にお目にかかる。それも20～30階もある高層建築物の外装現場までこの種の竹足場である。太平洋戦後、日本でも現在のような鉄パイプ足場がなかった時代には、足場丸太の2間もの、3間(5.4m)ものがナマン鉄線でしばられて大活躍した時代があったことを思うと冷笑するわけには参らないが、もう一方では、保安帽はつけているものの裸足で働いているそのチグハグさに口アングリ。

なお、足場から転落する人身事故は頻発しているようだが、大中国12億の人口からすれば火山灰の一片が吹き飛んだ位のことらしい。

○ 悠々たる土木工事現場

鉄道の複々線現場や、道路工事現場等、旅の途中で散見できたが、重機械は所々で散見できる程度で、ダンプトラックにスコップ、ツルハシ、モッコ、ザル等が機械工具類である。一生懸命作業しているのが $\frac{1}{3}$ 、煙草をふかしたり雑談に夢中なのが $\frac{2}{3}$ 、世話役の姿がどこにも見当らない?。日本人なら腹の立つ非能率な姿であるが、低賃金で沢山の人の使った方が民生上安定する中国の特長なのか、悠々と、あわてなさるなど忠告されているようだ。なお、中国の鉄筋コンクリートは華奢である。これは、地震がないせいかな。

○ 発声音の周波数の違い(ケタタましい響)

日本人と中国人の発声周波数はかなり違うらしい。日本人は低音がよく出てソプラノは限界があるが、中国人の周波数は遥かに上位にありケタタましい感じがする。

○ ゾロゾロついて来る店員

中国の土産物店に入ると店員がゾロゾロついてくる。聞きもしないのに「これが安いよいい品よ」とにじみ寄ってくる。自由選択するのに気が散ってしまうような気がする。

○ 金持ちの自家用車のNOプレート

日本では9999は週間天気予報の電話番号に使われるが、中国では9,8,7が開運の数字と

して重用され、例えば999,888,次いで777の数字は金持ちの自家用車が誇らし気に付けている。車も日本のように多くないので、田舎では3桁で間に合っているらしい。

○ アパート屋上にも植木

日本でも3～5階建のアパートの屋上に見かけるが、広州ではどの低層アパートの屋上に植樹をし緑化していた。しかし花まではない、花まで楽しむ余裕がないのであろう。

○ 一族で固める新興会社

経済特区で成功したら、経営者は必ずといってよい程血族を呼び込むという。日本なら広く人材を他に求めるのが通例であるが、中国では余程親戚を優先するらしい。この中には怠け者や不良がいるのにお構いなしという。他人に対する信用をどこかに置き忘れては?

○ 会食・交際費野放しの中国

中国では他社と商取引に使われた会食交際費に対する法人課税はないようだ。よって会社の儲けに対して税金で持って行かれるよりもどんどん会食をしようとのこと。今回吾々旅行団が会食した折にも、それらしき社用族や経営者の一族と相手方の家族が盛んに美食をつつき美酒に酔っていた。愛国心不足!!日本の経営者はその点慎ましい。可哀想な位!!

おわりに

華南の現状から推察すると、中国の社会資本の形成は日本に遅れること20～30年、産業では基礎産業の遅れが目立つが中国の大学進学率が20%に達すれば手強い国に成長するであろう。日本も生涯教育の輪を今の内に進める必要がある。

最後に「日本に生まれてよかった」。

以上

編集部より：6回に亘り長い間連載して参りました「香港・広州・マカオ見聞録」を終わります。執筆戴いた矢野先生と、ご愛読戴いた皆様に御礼申し上げます。



会員ニュース



★ 技術士会九州支部正会員、九州地方技術士センター正会員、電気・電子部門・鹿児島地区
泉 恒雄先生が、平成6年7月5日逝去されました。謹んでご冥福をお祈りいたします。

☆日本技術士会（九州支部）入会

－以下敬称略、受付順－

(地区)	(区分)	(氏名)	(技術部門)	(連 絡 先)
福岡	正員	元永 優一	建設	〒815 福岡市南区清水2-1-60 ベルピア清水403
"	"	糸乗 貞喜	"	〒810 福岡市中央区天神1-15-1 日の出ビル6F (株)九州地域計画研究所
"	"	宮地 宏吉	"	〒819 福岡市西区野方2-44-14
"	"	田代 利明	"	〒810 福岡市中央区平和3-18-12-302
"	"	中村 哲也	"	〒813 福岡市東区名島4-26-9-805
"	"	田中 穰治	経営工学	〒815 福岡市南区高宮5-1-1 ピア高宮S棟113
長崎	"	本多 勇	建設	〒851-21 長崎県西彼杵郡時津町西時津郷1078
佐賀	"	川崎 軍治	化学	〒840 佐賀市多布施3-2-54
大分	"	工藤 眞之助	建設	〒874 大分県別府市大字北石垣1236-17

☆九州地方技術士センター入会

(地区)	(区分)	(氏名)	(技術部門)	(連 絡 先)
宮崎	正員	請野 誠	建設	〒889-06 宮崎県東臼杵郡門川町加草4丁目177

☆日本技術士会（九州支部）退会

鹿児島 正員 泉 恒雄 電気・電子

☆九州地方技術士センター退会

鹿児島 正員 泉 恒雄 電気・電子
中四国 " 安井 武男 "

☆会員勤務先（住所）および連絡先変更

1. 御供田 交（建設）

勤務先 〒890 鹿児島市常盤町537-53

(株)中村測量設計 取締役会長

TEL(0992)82-3110 FAX(0992)83-3116

2. 岩松 正憲（建設）

勤務先 〒810 福岡市博多区中州5-6-20

三光産業(株)福岡支店

TEL (092)281-4319

3. 久富 富造（建設）

連絡先 〒889-06 宮崎県東臼杵郡門川町

城ヶ丘5-8 TEL (0982)63-4112

4. 西山 哲郎（建設）

勤務先 鹿児島県土木部港湾課

空港対策室

5. 羽田野義直（建設）

勤務先住所

〒870 大分市大字三芳565-3

6. 溝口 四郎（応用理学）

勤務先 〒874 別府市竹ノ内11組

(株)共同技術コンサルタント大分事務所

TEL(0977)25-0014 FAX(0977)25-0014

7. 田中 義人（建設）

連絡先 〒891-01 鹿児島市皇徳寺台

3-39-11

8. 會田 義彦（水道）

勤務先 〒803 北九州市小倉北区室町

2-11-19 九州テクノリサーチ(株)

TEL(093)561-2871 FAX(093)561-8303

<次ページにつづく>

9. 村山 隆之 (建設)

勤務先 〒812 福岡市東区東浜2-7-53
福岡北九州高速道路公社福岡事務所
TEL(092)631-0121 FAX(092)632-5591

10. 桑嶋 公生 (建設)

勤務先 〒812 福岡市博多区博多駅東
2-5-19 サンライフ第3ビル
(株)九州建設弘済会
TEL(092)481-3781 FAX(092)481-3785

◇ 会誌”技術士”最近号の主要目次

☆10月号

・巻頭言

これからの技術立国 / 小島 慶三

・私の技術士業務

30代技術士開業奮闘記 / 小松 道男

・情報資料

製造物責任法の解説

☆11月号

・巻頭言

技術士(建設部門)の

社会的地位の向上について / 黒田 晃

・提言

廃棄物再生費用の販売価額上乘せと
有価回収を法制化すべきことの提言

/ 池田 豊

・私の技術士業務

混流生産方式

/ 小澤 憲一

・研修のページ

環境保全を都市計画の源流から見る

/ 原田 和彦

☆12月号

・巻頭言

PL法時代の到来へ

/ 清川 祐二

・研修のページ

東海大地震の最近の胎動 / 高橋 博

・ミニ特集・製造物責任



編集後記



。いつの間にか、もう年の瀬。今年も様々な出来事があった。酷暑。水不足。「きく6号」軌道に乗らず、残念!。向井千秋さん、宇宙で多くの実験。ノーベル文学賞の大江健三郎さん、12月10日授賞式。人さまざま。(小)

11. 洲上 健次 (電気・電子)

連絡先 〒815 福岡市南区大楠3-19-9-201
(宮崎地区→福岡) TEL (092)523-2647

12. 泉館 昭雄 (電気・電子)

勤務先 〒804 北九州市戸畑区大字中原
先の浜46-51
山丸(株) 技術本部物流技術部
TEL(093)884-9633 FAX(093)884-9636

13. 岩下 秀雄(建設), 渡辺 忠(農業)

勤務先 〒890 鹿児島市田上3-18-20
(株)南日本技術コンサルタンツ
TEL(0992)58-4477

—受付順、敬称略—<会員ニュースおわり>

★投稿を募る★

技術研究論文・技術士の主張・賛助会員会社の紹介など、技術的なことは勿論会員の受賞などのニュースもお願ひします。積極的な皆さんの投稿をお待ちしております。
(200字詰め原稿用紙2~3枚程度を目安に、支部事務局宛にご送付下さい。)

☆緊急連絡!

PL法(製造物責任法)講習会開催

日時:平成7年2月4日(土)10時~17時

場所:福岡市 博多パークホテル

(代々木ゼミナール福岡校裏)

☎(092)451-1151

講師:本田 尚士 先生

矢部 五郎 先生

参加費:3,000円(昼食費含む)

申込:平成7年1月20日締切・事務局宛
(詳細は申込後、連絡します。)

発行:(株)日本技術士会・九州支部

九州地方技術士センター

〒810 福岡市中央区大名1丁目

12-61 新天ビル402

☎(092)771-9534

FAX(092)731-8274

編集:九州支部・総務委員会